

愛・あい

Aiai

Fureai Tasukeai sasaegi

 ふれあいネットワーク

夏号

社協だより 第23号

平成23年7月15日発行

社会福祉法人
佐賀市社会福祉協議会



みつせスマイルきっず

新緑の三瀬に、もみじのような子供たちの小さな手で畑ができました。

さつま芋・スイカ・黄色のスイカ・里芋等沢山の苗を植えました。大豆の種も蒔きました。芋苗の穴を掘る時も、大きな声で「お母さん。ここ」とニコニコ笑顔があふれました。沢山できるかな。だんだん大きくなっていくのが楽しみです。

CONTENTS

平成22年度一般会計・特別会計資金収支決算	2	お知らせコーナー・街かどレポート	5
平成22年度 佐賀市社会福祉協議会事業報告(概要版)	2~3	善意のお知らせ	6
佐賀市社会福祉協議会理事・監事・評議員の改選	3	ボランティアセンターだより・佐賀市ボランティアのつどい	7
こどもフェスタ・校区(地区)社会福祉協議会・東日本震災活動	4	受講生募集	8

本 所／佐賀市兵庫町大字藤木1006番地1 ほほえみ館3階

諸 富 支 所／佐賀市諸富町大字為重529番地5 佐賀市産業振興会館内

大 和 支 所／佐賀市大和町大字久池井2970番地 大和老人福祉センター内

富 士 支 所／佐賀市富士町大字古湯2685番地 佐賀市役所富士支所内

三 瀬 支 所／佐賀市三瀬村藤原3882番地 6 佐賀市三瀬保健センター内

川 副 支 所／佐賀市川副町大字鹿江623番地 1 佐賀市川副支所庁舎第2東別館

東与賀支所／佐賀市東与賀町大字下古賀1193番地 佐賀市東与賀保健福祉センター内

久保田支所／佐賀市久保田町大字新田3323番地 佐賀市久保田老人福祉センター内

☎ 0952-32-6670

☎ 0952-47-6261

☎ 0952-62-0461

☎ 0952-58-2311

☎ 0952-51-6001

☎ 0952-45-8111

☎ 0952-45-8022

☎ 0952-68-4512

発 行／社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

発行人／事務局長 白木 紀好

所在地／佐賀市兵庫町大字藤木1006番地1 ほほえみ館3階

TEL 32-6670 FAX 32-6665

E-mail／scshakyou@scshakyou.jp

URL／http://www.scshakyou.jp/

印 刷／誠文堂印刷株式会社



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金の一部が充てられています。

平成22年度一般会計・特別会計資金収支決算

一般会計収入

(単位:円)

経理区分	収入決算額	構成比(%)
法人運営費事業	305,810,349	42.9
地域福祉活動事業	36,225,323	5.1
共同募金配分金事業	20,298,653	2.8
市受託金事業	90,586,530	12.7
施設運営事業	120,548,590	16.9
介護保険事業	120,247,566	16.9
障害者自立支援事業	1,688,226	0.2
福祉資金貸付事業	18,033,344	2.5
合 計	713,438,581	100.0

一般会計支出

(単位:円)

経理区分	支出決算額	構成比(%)
法人運営費事業	265,395,494	43.2
地域福祉活動事業	36,013,213	5.9
共同募金配分金事業	20,296,413	3.3
市受託金事業	81,497,106	13.3
施設運営事業	116,036,290	18.9
介護保険事業	82,298,573	13.4
障害者自立支援事業	1,531,961	0.2
福祉資金貸付事業	11,151,064	1.8
合 計	614,220,114	100.0

特別会計収入

(単位:円)

経理区分	収入決算額
特別会計祭壇貸付事業	5,106,551

特別会計支出

(単位:円)

経理区分	支出決算額
特別会計祭壇貸付事業	165,191

概要版

平成22年度佐賀市社会福祉協議会事業報告(抜粋)

● 地域福祉活動推進部門

● 地域福祉活動計画策定事業

佐賀市と協働で、平成23年度から5年間の本市における地域福祉推進の基本となる「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

◆ ボランティアセンター事業

福祉ボランティアの育成援助を目的に、左記のような事業を行いました。

- 初級ボランティア講座：初めてボランティアを始める方や、始めてみようかなと考えている方を対象に開催
- 子育てサポートー養成研修：子育てに関するサポートーを養成する講座として開催
- 技能ボランティア養成講座：地域での集まりの際に講師となつていただくよう、給手紙や折り紙の講座などを開催

● ボランティア活動保険受付：ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険の受付

を行いました(掛金例：年間2800円)

● ボランティア活動への助成：福祉ボランティア団体の運営に要する経費に対し助成を行いました。また小・中・高校における活動に対しても助成を行いました。

● 24時間テレビチャリティ募金への協力：市内の施設・団体等が行う募金活動や、福祉車両等の寄贈申込みの取りまとめを行いました。

◆ 小地域ネットワーク活動

校区社会福祉協議会支援事業：小学校区ごとに設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し、運営費の助成や活動支援を行いました。

● 高齢者サロン事業：佐賀市の委託を受け、市内約190のサロンに対する運営費助成や相談指導等を行いました。

● 在宅高齢者会食会事業：在宅の高齢者の孤立感の解消や閉じこもり予防のため、会食会を開催し、また地域のボランティアグループや民生児童委員協議会、校区社会福祉協議会などが実施する高齢者会食会に対し、共同募金の配分金などを受け助成を行いました。

● 愛の一声運動推進事業：ひとり暮らし高齢者の安否確認と日常生活の安全を確保することを目的に、民生児童委員協議会とともに声かけ運動を実施しました。

● 災害時避難支援対策事業：災害時に避難支援を要する高齢者等に対し、迅速な安否確認や避難支援行動に取り組めるように民生委員・児童委員など地域の支援団体の協力を得て、佐賀市と協働で支援の体制づくりや訓練等を行いました。

● 健康づくり促進事業：主に高齢者の健康維持や介護予防のため、健康チエックや運動・相互交流などの講座や講習会を年間を通して開催しました。

● 歳末地域交流事業：世代間の交流を目的に餅つきやしめ縄づくりを開催しました。

◆ 福祉教育啓発活動

● 福祉体験学習指導者派遣事業：地域や学校で開催されるアイマスク体験・高齢者疑似体験・車椅子介助等の学習が適切に実施されるよう、経験と指導力を備えた指導者の派遣を行いました。

● 実習生受入れ：これから福祉を担うであろう学生に福祉従事者に求められる姿勢や態度、援助技術を身につける実地教育の場として積極的に受け入れを行いました。

● 広報啓発事業：社協だより“愛・あい”を年4回市内全戸に配布し事業の周知を行いました。

第7回 もろどみこどもフェスタ

諸富支所

～未来へつなごう！こどもと地域の知恵の輪～

今年で7回目を迎えた“もろどみこどもフェスタ”当日はあいにくの曇り空にも関わらず、約600名の参加をいただきました。

諸富町内のボランティア団体・商工会・家具組合等が力を合わせ、趣向を凝らした14の体験コーナーを設置。体験活動を通じて、たくさんふれあいがありました。

町内の小学生もボランティアとして大活躍。オープニングの太鼓演奏や“おばけ屋敷”等、約1カ月に渡り準備を重ねてフェスタを盛り上げてくれました。

それぞれが持っている特技を取り組んだ、心温まるフェスティになりました。

家具のまち“諸富らしく、家具組合が”木工コーナーを開設。優しい職員さんが、未来の家具職人に優しく指導してくれました。

家具のまち“諸富らしく、家具組合が”木工コーナーを開設。優しい職員さんが、未来の家具職人に優しく指導してくれました。

約1カ月に渡る猛練習でオーブニング飾演訓練を経て、素晴らしい演技をとおして知恵の伝承。

校区(地区)社会福祉協議会とは…！

住民一人ひとりにとって、基本的な生活の場は、家庭であり、地域です。「ひとり暮らし老人の死・1週間後発見」「無縁社会」「高齢者・児童虐待」等が新聞記事、あるいはテレビで、頻繁に報道されています。

このような出来事を他人事にせず、地域の福祉問題として、住民一人ひとりが参加し、解決していくため、公私の専門機関や団体と協力して、地域福祉のネットワークづくりをすすめ、ふれあいのある「共に生きる地域社会」の実現に取り組み、地域の実情に合った福祉活動を推進していくのが、校区(地区)社会福祉協議会です。現在、佐賀市内19の小学校区に設立され活躍されています。

巨勢校区社会福祉協議会の活動について (東日本大震災の募金活動)

巨勢校区社会福祉協議会 会長 篠原 豊

巨勢校区の社協会長として2年が経ち、巨勢町の中で社協の活動を認識してもらうため尽力してきました。幸い人材にも恵まれ、役員の協力を得て今日に至っています。そうした最中、3月11日皆さんで存知の東日本大震災が発生しました。大震災発生以降、校区内では役員が顔をあわせるたびに、大変な事態に何か行動を起こそうという機運が高まってきた。

こうした折、市の社協より公民館を通して募金の依頼があり、背中を押される形で、行動を起こすことになりました。当初は自治会長会が主体となって募金活動を行ってはどうかといつ話が出ましたが、自治会長会では、行政とのかかわりが深いことから、各種団体からなる社協が中心となって、活動してほしいということになりました。

これを受け、各種団体の会長と具体的な行動を起こすため、検討会を開きました。物品は数量が必要なことから、募金活動を行うことになりました。商店や事業所は、本部役員がお願いすることになりました。募金は各町区の自治会費の一部を、義援金として出してもらう方法もありましたが、町区役員の家庭訪問は、支援の輪を広げる意味もあり、町民の何かしたいという気持ちに応えることができたように思えます。

お陰さまで、総額126万円もの義援金を集めることができました。改めてお礼申し上げます。また、町民や企業・商店の方々の温かい心に感謝し、巨勢町に生まれ育ったことを誇りに思います。これからもより充実した社協活動を行おうと考えています。



東日本震災活動 ボランティアセンターへ派遣

6月11日から7日間、福島県いわき市災害救援ボランティアセンターの運営に携わりました。いわき市の中心部はライフラインの復旧も進み日常生活を取り戻しつつありますが、今も尚余震が続いている。福島県は岩手県・宮城県両県に比べ、甚大な被害は無いように思われていますが、沿岸部の地区では家屋の全半壊、港の機能停止など大きな被害が出ており、復旧にはかなりの時間と人手が必要です。また、市の一部が福島第一原発から30キロ圏内(5%程度)に入ることもあり、地震・津波に加え、原発(放射能問題)・風評・農産物の出荷停止など重苦と言われています。

センターには毎日、全国各地から200名を超すボランティアの方が訪れ、被災者の方の「手伝って欲しい」という切なる声に答えてもらっています。現在、センターから派遣されるボランティアの方々の活動は、家屋内外の瓦礫の撤去から側溝の土砂上げや屋内の片付けへと移行してきました。今後、避難所や仮設住宅に避難されている方の話し相手など精神的サポートが求められます。しかし、こんな苦しい中でも、被災者の方の明るく元気に振舞っている姿に心を打たれ、ボランティアの方々の真摯に作業に向かう姿には勇気と感動をいただき、希望を見ることが出来ました。

震災から四ヶ月が経ち、私たちが目にする震災の情報は減りつつありますが、課題が変化してきただけで、まだまだ問題は山積みです。今後も国民一人ひとりの継続的な支援が必要です。

今回、経験した事を色々な方に伝えることで東北地方への支援の輪が広がればと思います。私たちの支援の気持ちちは確実に届いています。今、私たちにできることは何なのか。引き続きの支援をお願いします。

総務課 山口貴史



お知らせコーナー

三瀬支所

オープン

みつせスマイルキッズ畑

みつせスマイルキッズで、子どもとお母さん達と一緒にさつま芋や赤や黄色のスイカと里芋を植えました。はじめこわごわと土に触っていた子供達も土いじりに夢中になりました。大きくなれるとジョウロでお水もたくさんかけました。8月22日にはキッズ畑で作ったスイカでスイカ割り、11月21日には芋ほりの収穫祭を行います。



みんな、三瀬にあつまれ～！
問い合わせ
佐賀市社会福祉協議会
三瀬支所 (TEL51-6001)

第17回佐賀新聞金婚さん表彰

佐賀新聞社では平成23年に結婚50年を迎えるご夫婦（昭和36年に結婚されたご夫婦）を表彰されます。

申込期限：8月17日（水）まで
表彰式：9月21日（水）10時～・14時～
場所：アバンセ
参加費：無料
申し込み・問い合わせ
佐賀新聞社事業部
TEL 0952-28-2151 FAX 0952-29-4709

暮らしのトラブル無料法律相談

- 開催日／毎月 第3火曜日
7月19日・8月16日・9月20日
- 時間／午後3時から午後5時まで
- 実施場所／富士支所庁舎 2階
- 相談員／司法書士 石井久人
- 予約・問い合わせ／佐賀市社会福祉協議会
富士支所 (TEL58-2311)

【注意事項】

相談に対して適切な助言をすることが目的ですので、相手との交渉、手続き代行、相手を呼び出して仲介などをすることはできません。

寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

寝具の衛生管理が困難な人への布団などの洗濯サービスです。実施時期は9月頃です。

■対象者

次の3つすべて該当する人。

- ①おおむね65歳以上の単身、または高齢者のみの世帯および身体障害者（1級、2級）
- ②佐賀市の所得税非課税世帯で、在宅であること
- ③身体的または環境上の理由により寝具の衛生管理が困難

※対象者決定のため、訪問・聞き取り調査を行います

■料金 無料

■申込期限 7月29日（金）

■問い合わせ

佐賀市社会福祉協議会 福祉サービス課
32-6670

街かどレポート

八丁畷ふれあいサロン会 代表 山崎 光次

6月13日はおいしい魚を食べに、唐津方面への日帰り旅行です。当日は前日からの大雨もやみ一安心です。（参加者22名）

バスの前に唐津城があらわれ、目的の会場（唐津ロイヤルホテル）に到着しました。次々に出てくるごちそうに舌鼓みをうち、誰もが満足顔でした。食事が終わると、カラオケが始まり、歌う人、踊る人、アナウンスする人、多くの方の特技が披露されました。おさかな村、トイレ休憩での買い物も楽しみの一つでした。

毎月の会食会と違い、遠くまで出かけて活動的になり、どの方も一段とお元気でした。

最後に八丁畷サロン会の歌を紹介します。

♪ サロンよいとこ来月もおいで ドッコイショ
あなたとおしゃべり コリヤ 花が咲くよ チョイナチョイナ
サロンよいとこ毎月おいで ドッコイショ
人と出会って コリヤ 花が咲くよ チョイナチョイナ ♪
♪ 「草津よいとこ」の節で ♪



善意のお知らせ

ご寄付
ありがとうございました。

いたばきましたご寄付は、
福祉のために大切に使わせて
いただきます。(敬称略)
平成23年3月21日(火)
平成23年5月31日(土)受領まで
()は故人名



一般寄付

【本所】

行徳ホーム(株)

がらくた市売上金

佐賀市傷痍軍人会

佐賀市傷痍軍人会妻の会

大島 昭三(下川八重子)

江頭 由紀子(泰幸)

蒲原 光壽(壽一)

小野 隆之(榮太)

川崎 博(利子)

久我 哲三(江頭靜)

草場 年江(忠雄)

神代 佳之(智子)

黒岩 芳也(喜代子)

古賀 一成(重松マツヨ)

古賀 和彦(タマ)

古賀 義晴(美義)

小林 操(エツ)

坂井 光丸(ツユ)

坂井 酒井(さく)

坂井 光夫(さく)

坂井 洋子(正)

高島 篠原 千恵子(丈哲)

武富 高島 保(三代子)

田中 武茂(ハルト)

伊佐務(麗子)

香典返し寄付

*50音順

筒井 美代子(優)
かめ代(今雄)

山田 栄(タケ)
山本 直美(梅信)

古川 和徳(幸枝)
吉富 キヨミ(義朗)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

甲斐 達雄(マキト)
富吉 ツギエ(辰次郎)

鶴 嶽也(喜徳郎)

種夫(冴夫)
中居 末子(ヌイ)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

鶴崎 展也(喜徳郎)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古野 里美(成隆)
真崎 好子(雄司)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

【川副】

山田 栄(タケ)
山本 直美(梅信)

古川 和徳(幸枝)
吉富 キヨミ(義朗)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古川 和徳(幸枝)
吉富 キヨミ(義朗)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

中島 信顯(顯子)
江口 博人(紀久子)

古川 和徳(幸枝)
吉富 キヨミ(義朗)

福井 由子(壽昭)
石丸 健次郎(タマト)

碇 浩一(秀春)
石丸 智子(藤太)

【東与賀】

吉田 実(ミサト)
吉田 実(ミサト)

吉田 実(ミサト)
吉田 実

ボランティアセンターだより

傾聴ボランティア養成講座 参加者募集

話を聞くことで心のケアをする「傾聴ボランティア」が脚光をあびています。

「何か自分にできるボランティア活動があったら」と願う人たちが、傾聴についての基本を学び、その技術を活かしながら、悩みや寂しさを抱える人たちのお話し相手をすることが傾聴ボランティア活動であり、それを行う人たちが傾聴ボランティアです。

心をこめて話を聴き、心から寄り添うことで、相手の不安を和らげ親しくなり、お互いの生きがいづくりにもつながる活動です。

新しいボランティア活動を求めている人たちや団塊の世代の余暇活動を、ボランティア活動に向けてもらうことを目的としてこの講座を開講します。

●期日 平成23年9月23日（金）～9月26日（月）〔4日連続：25時間講座〕

●場所 メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫町藤木1006番地1）

●対象者 4日間全ての受講が可能であり、終了後に傾聴ボランティアとして活動できる方

●定員 40名

●参加費 5,000円

●主催 傾聴ボランティア佐賀 カたらい

●申し込み/問い合わせ

平成23年8月31日（水）までに佐賀市社会福祉協議会に電話でお申込みください。

※定員になり次第締め切ります。

TEL 32-6670

【公開講座】

よい聴き手になるために～傾聴について学ぶ～

心をこめて話を聞くことで、相手の心のケアをする「傾聴」について学びませんか？

●期日 平成23年9月23日（金） 10:00～12:00

●場所 メートプラザ佐賀 多目的ホール（佐賀市兵庫町藤木1006番地1）

●講師 NPO法人 ホールファミリーケア 理事長 鈴木絹英さん

●主催 傾聴ボランティア佐賀 カたらい

●問い合わせ 佐賀市社会福祉協議会 TEL 32-6670

※参加費無料（事前申込みは必要ありません）

佐賀市ボランティアのつどい開催

佐賀市社会福祉協議会では、佐賀市ボランティア連絡協議会と共に、佐賀市内で活動されているボランティアの交流・研修会を開催します。

今年は災害をテーマに災害ボランティアの体験講話やゲームを用いてのグループワークを行います。佐賀市内でボランティア活動を行われている方々の参加をお待ちしております。

・とき 平成23年9月7日（水） 10:00～15:00

・場所 メートプラザ佐賀（佐賀市兵庫町藤木1006番地1）

・問い合わせ 佐賀市社会福祉協議会 TEL 32-6670

受講生募集

子育て講座Ⅱ 参加者募集

佐賀市社会福祉協議会では子育てで不安を抱えている方々へ子育て講座を開きます。お子さんとともに学んでみませんか。きっとほっとできますよ。希望される方は下記申込み先へお電話下さい。

1. 対象者 佐賀市にお住まい1歳未満児の保護者
2. 募集定員 定員20名(先着順)
3. 日程及び内容

	1	2	3	4
日程	9/13(火)	9/26(月)	10/12(水)	10/18(火)
時間	10:30~12:00	10:00~12:00	10:30~12:00	10:30~12:00
内容	乳幼児の成長 離乳食を作つてみよう <small>(材料費は各自負担)</small>	ベビーマッサージ <small>(オイル代は各自負担)</small>	ベビーマッサージ <small>(オイル代は各自負担)</small>	乳幼児救護法 <small>(救急時の対策)</small>
講師	内野産婦人科 助産師 内野秋子	佐賀県栄養士会 栄養士 納富芳子	POO工房!工房! 助産師 西坂恵	佐賀広域消防局 南部消防署



4. 場所 佐賀市東与賀保健福祉センター
(佐賀市東与賀町大字下古賀1193番地)
5. 申し込み 8月8日(月)から受け付け。

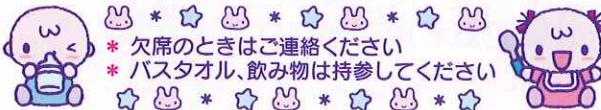
電話または社会福祉協議会東与賀支所へ直接
申し込みください。

* 託児:離乳食講座のみ託児有(無料)

他講座は親子で受講します。

但し、兄姉の託児は離乳食以外の講座については有料
(1人¥600)

*問い合わせ:佐賀市社会福祉協議会 東与賀支所
TEL 45-8022



折り紙講座 受講者募集!

久保田支所では、下記の通り“折紙講座”を開催します。ボランティア活動に関心のある方、余暇を利用して自分の楽しみや喜びを発見してボランティアしたい方など、どうぞお気軽にご参加ください。

日 時: 9月1日~10月6日までの木曜日(6回)

13:30~15:00

場所: 久保田老人福祉センター

募集定員: 30名

募集期間: 8月10日~25日

申し込み: 佐賀市社会福祉協議会久保田支所

TEL 68-4512



移送サービス運転 ボランティア募集中!!

~第2の人生をボランティア活動に活かしてみませんか~

■内 容 車イスに乗ったまま乗り降りできる自動車を使って、利用者を自宅から目的地まで送迎するボランティアです。

■対象者 普通免許を取得後3年以上の運転歴があり、福祉活動に対する理解と熱意がある方ならどなたでも参加できます。詳細につきましては、気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ

佐賀市社会福祉協議会
TEL 32-6670

